

令和5年8月24日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1 開会宣言

(教育長) 令和5年度8月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

野谷委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 8月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

- (藤原委員) 一色小学校の上手くいっている事例をどんどん発信することは、良いことなので、他の学校にも広がってほしいです。ただ、児童数の少ない一色小学校だからできる、地域が積極的に取り組んでいる状況だからできる、と受け手側が思うと、いくら発信しても意味がありません。発信だけでなく、他の学校に展開するにはどうしたらいいのかを考える必要があるので、学校運営協議会などで連携ができると良いと思います。非常に良い取り組みなので、他の学校への底上げにどう生かすかが今後の課題です。
- (教育長) 一色小学校のスマイルネットサポーターのような活動が他の学校に広がり、多くの大人が学校にすることが当たり前で、コミュニティ・スクールの最たることを進めていければと思います。防犯体制のことを考えると一気に進められず、見守り隊や学習部会の体制をしっかり整える必要があります。

4 付議事項

(1) 議案第9号 令和5年度二宮町一般会計補正予算(第4号補正)について

(教育部長、教育総務課長、生涯学習課長) 令和5年度二宮町一般会計補正予算(第4号補正)について資料に基づいて説明

- 非公開 -

(2) 議案第10号 令和5年度二宮町一般会計補正予算(第5号補正)について

(教育部長、生涯学習課長) 令和5年度二宮町一般会計補正予算(第5号補正)について資料に基づいて説明

- 非公開 -

(3) 議案第11号 二宮町立小中学校特別教室等空調機設置工事請負契約について

(教育総務課長) 二宮町立小中学校特別教室等空調機設置工事請負契約について資料に基づいて説明

- 非公開 -

5 報告・協議事項

(1) 教育委員会表彰について

(教育総務課長) 教育委員会表彰について資料に基づいて説明。

- (野谷委員) 見直しの理由に挙げられている、式典の時間を圧迫というのは、式典を見ても受賞対象者が多すぎるなど実感します。民間の大会は情報が入りにくいです。入賞しても、黙っている人もいれば報告する人がいるという条件では、不公平感もあります。ただ、頑張って成果を上げた子を称えることは良いことなので、改正案2に賛成します。
- (教育総務課長) 追加説明になりますが、改正案2の場合、11番から17番の方は特別表彰として学校で表彰し、18番の方は教育委員会表彰として新春のつどいで表彰することになります。特別表彰と教育委員会表彰に分ける形にしたいと考えています。
- (藤原委員) 3位に入った民間の大会だった場合、大会の出場人数によっても価値が違おうと思われませんが、それは考えずに、3位という結果だけで大会規模は見ないで、結果のみを見るということでしょうか。ただ、線引きの難しい問題で、大会参加人数は見ないのが現実的な気がします。チームで優勝した場合は、代表1人が出るのでしょうか。
- (教育総務課長) チームに所属している子が全員出ます。例えば、リトルシニアの場合、二宮町の子が所属していたとしても、キャプテンとは限りません。そうすると、町外の子に渡すのかという問題になります。
- (藤原委員) チーム表彰は、人数の上限削減はできませんが、大会の主催等で新春のつどいの対策はできるということであれば、事前の対策としては、改正案2に賛成です。
- (教育長) 改正案2に賛成いただいておりますが、現行はどうだったのでしょうか。
- (教育総務課長) 明らかに民間の大会というのは表彰しないことになってはいますが、明らかなものがほとんどなく、現行は民間でもほとんど表彰している状況です。今後は学校が推薦していただければ、ほぼ全てが対象となります。

(2) 教育相談および教育支援室の状況について

(指導班長、成田専任教諭) 教育相談および教育支援室の状況について資料に基づいて説明。

- (藤原委員) 減っている理由は分からなくても、減っていることは良いことだ、という理解で良いと思います。相談体制はできていて、電話相談も訪問相談も0件ではありません。やまびこの通室生が、2学期から新たに3人加わるということですが、体制は大丈夫なのでしょうか。やまびこのクオリティを保つのも大切なことです。
- (成田専任教諭) この人数であれば大丈夫ですが、これ以上増える場合は曜日をずらすなど、手薄にならずに密に関われるような対応が必要になってきます。
- (藤原委員) 学校に行けない子の受け皿の一つとして、やまびこがある中で、利用する子が増えたから、受け入れ人数を単に増やすというのは難しいと思います。状況に応じて、対策を立てながら受け入れていくのが良いと思います。
- (野谷委員) スクールカウンセラーがこれまで以上に近くにいることはとても良いことです。やまびこでは、星槎学園や原っぱベースとの交流もあり、家族以外の人との関係を楽しみにしている子がいて、子どもたちが新しい経験をすることによって、やまびこの活動が充実していることが伺えます。国県の政策になりますが、やまびこに通室希望者が増加した場合に備えるためにも、体制の充実が必要ではないかと感じています。

(3) コミュニティ・スクールの運営状況について

(教育指導担当課長) コミュニティ・スクールの運営状況について資料に基づいて説明。

- (藤原委員) 来年度、学校運営協議会を一緒にするとなると、いつの段階で決まっていけないといけないのか、決定の仕方、校長会で議決されれば決まるのか、などを教えていただけますでしょうか。
- (教育長) 学校運営協議会については、前年度に学校長が翌年度の役員を推薦して、1年任期で教育委員会が委嘱します。年度末の学校運営協議会の中で、新年度の体制について説明をすればいいのではないかと思います。
- (教育指導担当課長) 事前に各学校の学校運営協議会の会長や委員の方に来年度の形を説明する必要があると考えています。それを踏まえて、役員を推薦してもらわないと、ハレーションを起こしてしまう可能性があります。委員さんに学校のことを色々やってもらっている中で、そっぽを向かれると怖いので、事前に説明をして調整した方が話しを通しやすいと考えています。
- (藤原委員) 今年の委員が来年も委嘱されるかは分かりません。ただ、早めに説明をしないと、不満が出るかもしれないことは理解できますので、年内の12月までに最低限校長会まで説明し承認していただいた方がいいですね。

- （教育指導担当課長） 形を大きくして、例えば、二小部会や二中部会のように部会を設置するようなイメージをしています。
- （藤原委員） やり方などは考える必要はありますね。そうした中で、P T Aはまだ一つにせず、分けたままでいいと思っています。次回には仕組みの案を出させていただきたいと思います。それを元に校長会で説明をお願いできればと思います。

（４）その他

－ 次回教育委員会予定 －

（教育総務班長） 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

14時27分 閉会